JAしおざわ　営農情報誌

あ　ぜ　み　ち

No.3
平成24年5月1日

営農センターTEL 782-1171

稲作技術情報

～高品質･良食味米の生産に向けて～

1.今後の作業について

昨年同様、雪解けが遅いため田植えまでの作業日数が例年に比べ少なくなり、本田作業が忙しくなります。雪解けに合わせ、例年より**田植え時期を遅らせる・代かきから田植えまでの日数をあけすぎない**など、本田作業に余裕を持たせ、併せて作業を効率的に進められるようにしましょう。

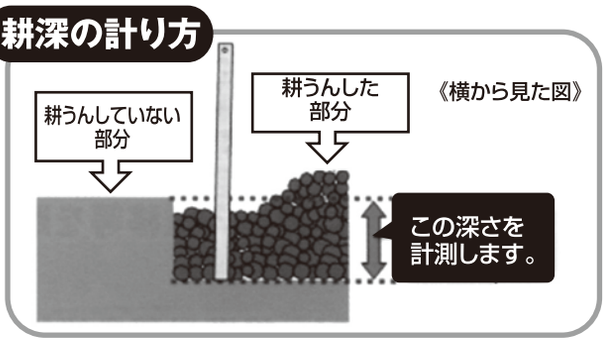
※育苗管理・本田準備・田植え作業についてのポイント・注意事項は、
4月1･15 日発行の「あぜみちNo．1，2」をご覧ください。

2.本田準備から田植え作業を再確認

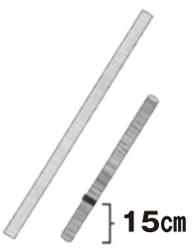
田植えまでの作業日数が限られますが、本田作業を行う際は以下の点に注意し作業を行いましょう。

○稲わら**秋すき込み圃場**では、田面の**乾きが悪い**ので**排水を徹底**しましょう。
○畔･田んぼに少しでも雪が残っている間は、耕うんを行わないようにしましょう。
※残雪を田んぼに鋤き込むと、地温の上昇が著しく低下します。
○なるべく圃場が乾いた状態で耕うんし、**作土深15cm**をめざしましょう。
○代かき作業は、**田植え2～3日前**とし、代かき直後の田植えは避けましょう。

耕深の計り方



用意するもの



**ものさし、又は
ビニールテープ等で
印をつけた棒など**

○田植日の遅れによる、基肥量の減肥について

雪解けの遅れや、災害復旧の関係で、田植時期が6月中になる場合は、基肥えの減肥が必要になります。田植日と基肥量の例を参考にして下さい。

事例:例年5月15日の田植えが6月10日に遅れた場合

例　年	
田植日	基肥量
5月15日	**35kg**

➔

今　年	
田植日	基肥量
6月10日	**28kg（2割減）**

※栽培期間が短くなるため、過剰生育を避けるために行いましょう。

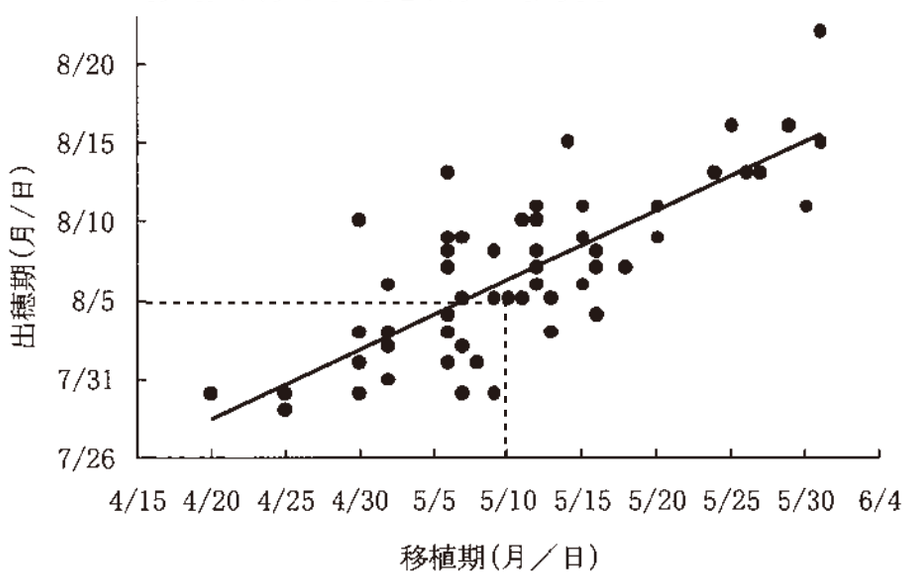
○田植作業について

①**田植えは、5月10日以降**とし、出穂期～登熟前半の高温障害を回避するために、**目標出穂日が8月10日頃**になるようにしましょう。

②栽植密度は、**1坪当たり50～60株**、植え付け本数は**1株あたり3本～4本**とし、**極端な浅・深植え**にならないように注意しましょう。

③施肥量は、過剰施肥とならないよう地域にあった**適切な基肥設計**をお願いします。特に前年度、**早期倒伏（8月下旬）**した田んぼは**基肥の施用量を検討**して下さい。

移植期と出穂期の関係



◎5月10日以降に移植することにより、安定的に8月5日以降の出穂となります。

3.田植え後の水管理～分げつ促進のために～

目標茎数を早期に確保するため、**適切な水管理**を行い、初期生育（分げつの発生）を促進させましょう。

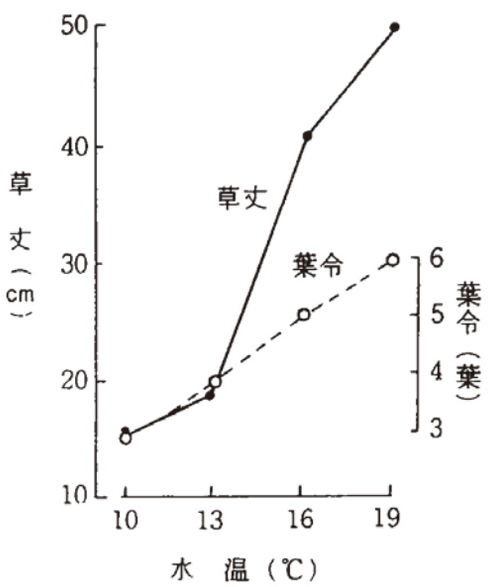
※初期生育の促進は、**太い茎を早期に目標数取る**ために行います。
（茎数をたくさん取ることではありません。）

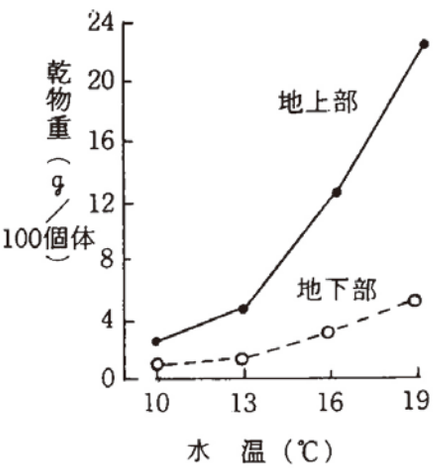
生育初～中期の水管理基準

	水　深（cm）	効　　果	備　　考
田植え直後 （直後～5日程度）	5～6cm （深水）	低温・風による植え痛みを防ぎ、根付きを良くします。	水温を保てるよう、漏水に注意・防止する。
田植え初期 （田植え後5～7日以降）	3cm程度 （浅水）	水温・地温を上昇させ分げつ・発根を促進します。	ワキが多い場合は、1～2日落水する。

図:水温と草丈・重量の関係（田植え20日後）

田植え後の水温が高いほど成長が良くなります。





※田植え後20日間の水温が平均3℃（13℃と16℃の場合）違うと、草丈で2倍、重量で3倍の差が出ます。

ポイント!

- 活着、初期生育の促進には水温の上昇が決め手!
- 水の更新は早朝に行い、日中は止水として水温を上昇させましょう。

4. 畦畔・水田雑草防除について

（1）畦畔除草

畦畔に雑草が繁茂するとカメムシ類の発生を助長し、品質低下を招く要因となります。発生を防ぐために、**定期的な草刈り**をお願いいたします。

（2）水田除草

作業軽減のため除草剤を使用していますが、環境保全の面からも、除草剤多投入による生態系への影響が懸念されます。**水管理・耕転・田畑輪換**などの**耕種的防除、中耕（除草機など）**による**機械的防除を組み合わせた除草体系**の実施をお願いします。

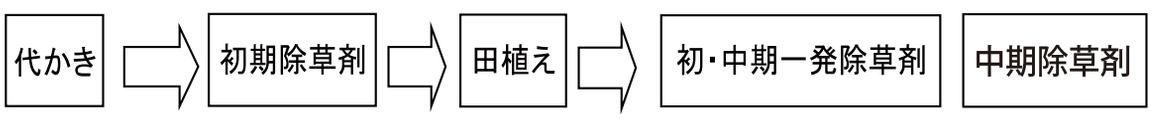
問題となる主な水田雑草

(1) 1年生雑草：ノビエ・コナギ・アメリカアゼナ・カヤツリグサ類など
(2) 多年生雑草：クログワイ・ホタルイ・ウリカワ・マツバイ・オモダカなど
(3) 藻　　類：アオミドロ・表層はく離
(4) 浮遊雑草：ウキクサ類など

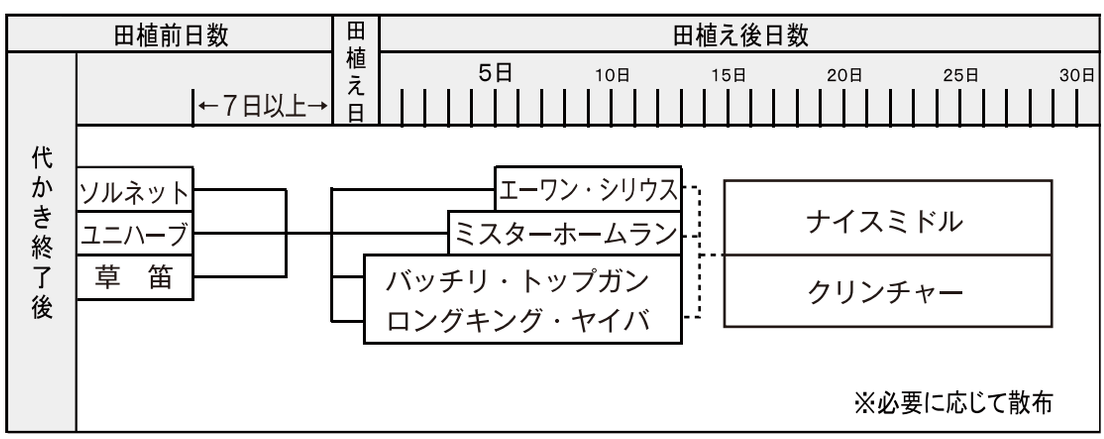
★発生する雑草に合った除草体系を選択し、水田雑草防除を行ってください。★

• 除草体系例

①代かき後～田植えまでの期間が開いた場合（7日以上）

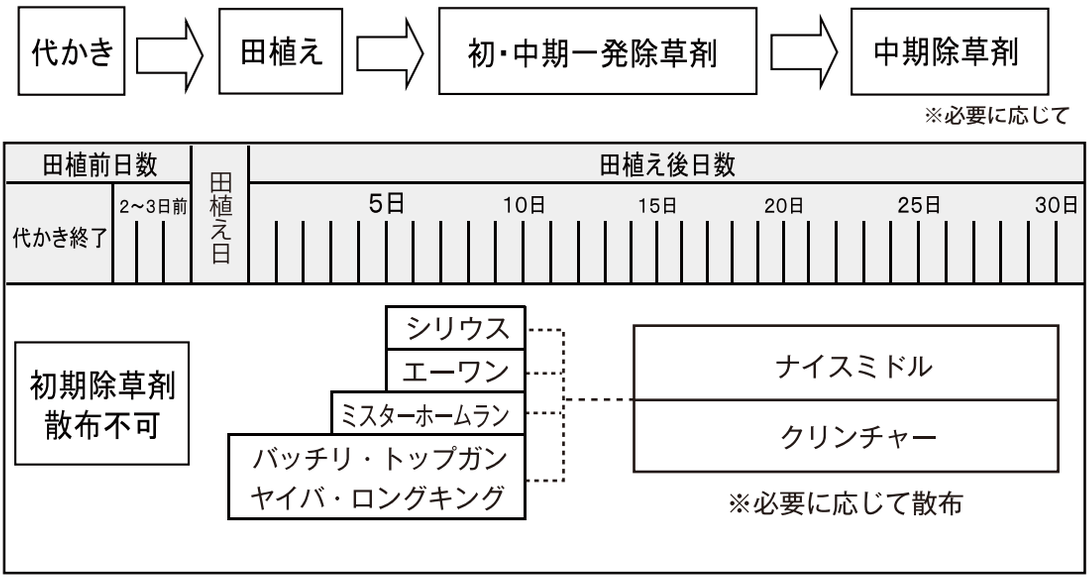


※必要に応じて

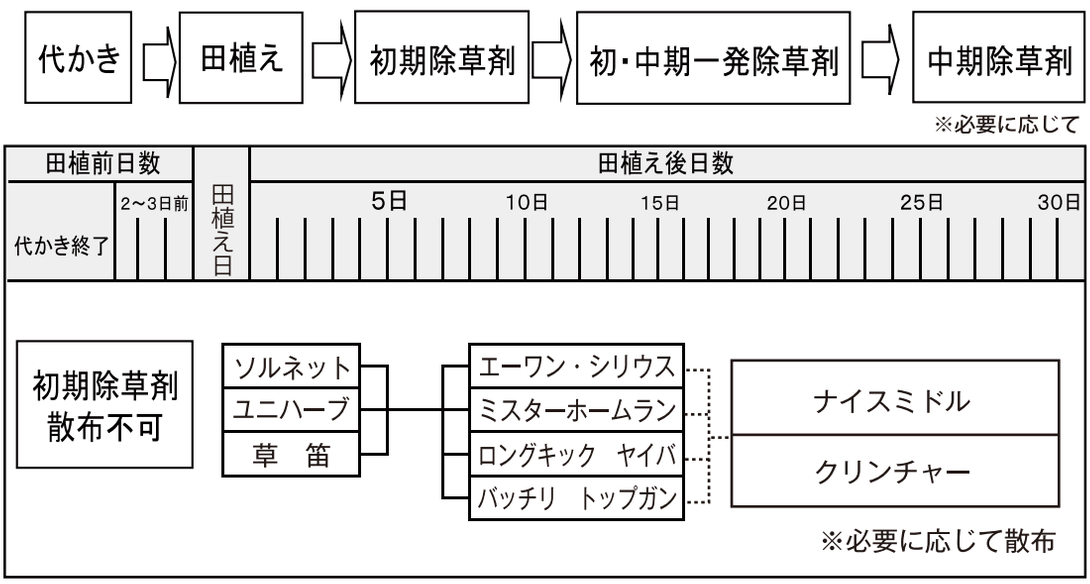


※散布日～5日間は、落水・かけ流しは行わず、湛水状態を保ちましょう。

②代かき後～田植えまでの期間が短い場合



③難防除雑草（ｸﾛｸﾞﾜｲ・ﾎﾀﾙｲ）が多い田んぼ場合



?質問、疑問?

Q 代かき後に初期剤を散布する場合、水が濁っていても撒いていいの?

A 水が澄んでいる状態で撒くことをおすすめします。しかし、代かき翌日に**多少の濁りがある場合は問題ありません。**

Q 田植え前に初期剤を散布する場合、何日あければ田植えをしていいの?

A 初期剤を散布する場合、田植え前までの日数は、**散布日を除く7日前**までに撒きましょう。**7日前以内**に撒くと、水をはらう際に除草剤成分が流れ出し、**環境に悪影響（魚毒性）が出てしまいます**のでご注意ください。

JAしおざわ一押し除草剤（初中期一発剤）

・1キロ粒剤なら

☆ミスターホームラン　1キロ粒剤

ここが一押し!

ヒエの発生を長期間抑える成分を配合。
一発処理剤の中では、価格が一番安い!

・フロアブル剤なら

☆トップガンL　フロアブル

ここが一押し!

ヒエをはじめ、幅広い種類の雑草に効果が優れている。
発生前の散布で、アオミドロ・表層剥離を抑える効果がある。

・減農薬栽培なら

☆**ヤイバ剤**（1キロ粒剤・豆つぶ剤・ジャンボ剤）

ここが一押し!

2成分剤で、通常の除草剤に比べ1～2成分少なくできる。
効果は安定していて、抑草期間も長い。
JAしおざわ特別栽培米使用農薬。

※価格は9ページをご覧下さい。

5. 水田除草剤の散布方法について

（1）水田除草剤使用のポイント

水田除草剤は、種類によりそれぞれ作用性が異なっています。個々の特性を知り、作物・人畜及び魚類等に対する安全性、除草効果、経済性、環境への影響などを考慮し、使用条件に最も適したものを選んでください。水田除草剤の種類は、散布時期・方法により下のように分類されます。

散布時期の違い…初期剤・初期一発剤・初中期一発剤・中期剤・後期剤
散布方法の違い…1キロ粒剤・フロアブル剤・投込み剤（ジャンボ）など

※散布方法別の特徴・注意点は次ページのようになります。

(2) 散布方法別の特徴・注意点

1キロ粒剤の特徴・注意点

特　徴　散布時に風の影響を受けにくく、土壌表面に散布するため土壌吸着性が高い。水持ちが良くない田んぼでも他の剤（フロアブル・投込み（ジャンボ））より効果が高い。経済性に優れているが、散布機が必要であり散布するために労力がかかるという短所もあります。

散布機使用の注意点

①1キロ粒剤対応機は、**取扱説明書をよく読んで**調整等を確認してください。

②**1キロ粒剤未対応機**の場合でも、対応部品を装着することにより、均一に散布でき、効果及び安全性が高まります。**メーカー・機種等により、対応部品が異なり**ます。対応部品に関しては、お買い上げの**農機具販売店にご相談**ください。

③薬剤をより遠く（15m程度）に飛ばすため、**エンジン開度は最高**にする。

④慣れるまでは、**1ほ場毎に薬剤を調量**し散布してください。一度に数枚分の薬剤を入れると、過度に播きすぎる原因となります。

⑤**散粒機を使用**する場合、調量レバーを**ゼロから順次上げて**適正な吐出量にしてください。

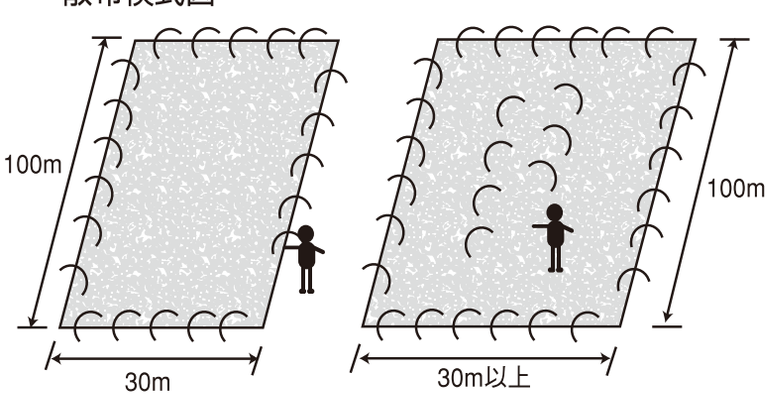
フロアブル剤の特徴・注意点

特　徴　拡散性に優れ、畦畔の幅が30mの水田までは、水田内に入らず、両側の畦畔から散布できる。散布に際して労力がかからないが、1キロ粒剤に比べ、多少割高になる。

散布時の注意点

水持ちの良くない水田では、注意して使用する。**畦畔の幅が30mを超える水田**では、畦畔の散布に加え、幅に応じて**水田内に入り数列の散布**を組み合わせて行う。

散布模式図



※フロアブル剤専用噴霧器もあります。（幅30～35m、薬剤散布到達距離：約10m）

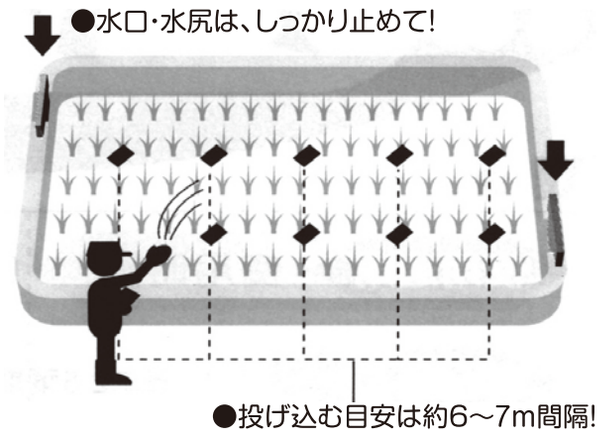
投げ込み（ジャンボ）剤の特徴・注意点

特　徴　拡散性に優れ、畦畔の幅が長い水田においても水田内に入らず、畦畔から散布できる。しかし、表層剥離・アオミドロの多発生・水持ちのよくない水田では散布ができない場合がある。また、散布に際してフロアブル剤よりも労力がかからないが、1キロ粒剤・フロアブル剤より、多少割高になる。

散布時の注意点

散布時の水深を5cm以上確保する。（拡散性を高めるため）**表層剥離・アオミドロ・浮草が多発生**している水田では**効果が劣る**可能性があるため、使用しない。また、**ぬれた手・降雨時**の散布には**小包装（パック）が破れる可能性**があるため注意する。

※田んぼの大きさにあわせて、均一に広がるように心がけて下さい。



※図は、横20m・縦50mの田んぼの場合。

共通注意事項

（1キロ粒剤・フロアブル剤・投込み剤〈ジャンボ〉）

① 田面が均一になるように**代かき、整地はていねい**に行ってください。

② 散布前は**水尻をしっかり閉じ**、散布時から散布後少なくとも**3・4日間は、水深3～5cmの湛水状態**を保ち、田面を露出させず、**散布後7日間は落水や掛け流しは、行わない**でください。

③ **極端な砂質土壌・漏水田（減水深3cm/日以上）**は使用しない。**（薬害発生の可能性あり）**

④ **強風時**の散布は、**播きムラ・除草効果ムラ**が生じやすいので行わない。

⑤ 畦畔からの漏水を防ぐため、**モグラ・ネズミ穴等はふさいで**おきましょう。

発生する雑草に合った薬剤を選択し、適期・適量散布を行ってください。

JAしおざわ取り扱い除草剤の詳細は次ページをご覧下さい。

JAしおざわ　おすすめ除草剤取り扱い品目（初期～中期）

	薬剤名	使用時期	効果・特徴の説明	価格（税込み）
初期剤	**ソルネット** 1キロ粒剤	田植え**前7日前**まで 田植え**直後～5日**まで （ノビエ**1葉期**まで）	**低温でも安定**した効果。	**¥682**
	ユニハーブ フロアブル		**1年生雑草及びホタルイ・ウリカワ**に効果。	**¥2,110**
	草　笛 フロアブル		**クログワイ・ホタルイ**に効果。	**¥1,365**
初中期一発処理剤	**トップガン**Lフロアブル	田植え**直後～30日**まで （ノビエ**3葉期**まで） **※田植え同時処理可能**	**SU抵抗性ホタルイに効果**が高い。 ヒエ3葉期・広葉雑草に幅広い効果。 **田植え直後から使用可能**。	**¥3,003**
	ヤイバ 1キロ粒剤		**水稲への安全性が高い。ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。**2成分剤なので減農薬栽培に適する。	**¥2,929**
	バッチリ Lフロアブル	田植え**直後～30日**まで （ノビエ**2．5葉期**まで） **※田植え同時処理可能**	**ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。** 効果発現が早い。	**¥3,066**
	〃 1キロ粒剤			**¥3,097**
	ロングキック Lフロアブル		**SU抵抗性雑草に高い効果。** **ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。** **発生を長期間抑える。**	**¥3,412**
	ミスターホームラン Lフロアブル	田植え**当日～30日**まで （ノビエ**2．5葉期**まで）	**ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。** 特に、**ヒエに優れた**効果あり。 **残効が長い。**	**¥2,562**
	〃 Lジャンボ	田植え後**3～30日**まで （ノビエ**2．5葉期**まで）		**¥2,614**
	エーワン Lフロアブル	田植え後**5～30日**まで （ノビエ**2．5葉期**まで）	**SU抵抗性雑草に高い効果。** **ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。** 新規成分配合。2成分剤。	**¥3,066**
	〃 1キロ粒剤			**¥2,992**
	シリウスターボジャンボ	田植え後**5～30日**まで （ノビエ**2葉期**まで）	**ヒエ・広葉雑草に幅広い効果。** **生育初期のアオミドロ・** **表層はく離**に効果優れる。	**¥3,139**
	〃 1キロ粒剤			**¥2,961**
中期剤	**ナイスミドル** 1キロ粒剤	田植え後**14～40日**まで （ノビエ**4葉期**・ クログワイ**10cm**まで）	**ヒエ・クログワイ広葉雑草に幅広い効果。** 田植え後2週間から使用できる中期剤	**¥2,593**
	クリンチャー 1キロ粒剤	田植え後**7～25日**まで （ノビエ**3葉期**まで）	**ヒエ剤**。広葉雑草には効果なし。	**¥1,596** **（参考価格）**

※使用時期・効果・特徴の説明は、メーカーの表示したものを引用しています。
※散布量は、10aあたり、1袋、又は1本の散布になります。

上記に関する質問・除草剤に関する質問・ご相談は、
JAしおざわ　営農センター　電話782－1171 へお願いします。

6. 農薬の使い方マニュアル

農薬使用者の遵守義務

食用作物、飼料作物に農薬を使う場合、登録農薬を使用し、農薬登録時に定められた下記の使用基準を守りましょう。

①適用作物　②使用量･希釈倍数　③使用時期　④使用回数

※登録農薬には農林水産省の登録番号が記載されています。

（記載例）農林水産省登録○○○○○号

使い方の基本

・ローテーション防除を心掛ける

ローテーション防除とは、同じ種類の薬剤を連用せず、異なる効き方をする数種類の薬剤を順番に用いて防除することをいいます。

続けて同じ作用の薬剤を使用すると、**薬剤耐性菌の出現**や、**薬剤抵抗性を発達**させた**害虫**が発生し、**農薬の効果が低下する場合**があります。

○ 良い例：薬剤A（作用の仕方A）➡ 薬剤B（作用の仕方B）➡ 薬剤C（作用の仕方C）

※毎回作用の仕方が異なる薬剤を使用しているため。

× 悪い例：薬剤A（作用の仕方A）➡ 薬剤A（作用の仕方A）➡ 薬剤A（作用の仕方A）

※毎回作用の仕方が同じ薬剤を使用しているため。

注意！

基本的な農薬の取り扱いを再度、確認しましょう。

使用する薬品の、**安全使用上の注意**をよく読んで使用してください。

●農薬取り扱い時（粉・粒剤散布、ジャンボ剤投入など）は、**防護メガネ、農薬　マスク、手袋・長袖・長ズボンの作業着等**を必ず着用し皮膚に直接、薬剤が付着しないように注意しましょう。

特に、**フロアブル剤、水和剤の調整、液剤の濃度調整時**など、水分の多い薬剤を使用する際は、**防護メガネ**、農薬マスク、**ゴム手袋、不浸透性防護服（レインコート、雨具など）を着用し皮膚に直接、薬剤が付着しないように**十分注意してください。

●作業した後は、着用した衣類を交換し、必ず**洗眼、うがい、石けんでの手洗い・洗顔**を行い、皮膚に薬剤が残らないようにしてください。また、**作業に使用した衣類は、他のものと分けて洗濯**してください。（洗濯時に、他の衣服に薬剤が付着し、**薬害が出る可能**性があります。）

●**かぶれ易い体質の方**は、特に注意するように心掛けてください。

園芸情報

さといもの作り方

種イモは、乾腐病（切り口に赤いスジ）が無く、1個40～50gで形状の良いものを選びます。（土重･石川早生･ハッ頭など）
お勧めはポット育苗です。10.5㎝以上の**ポリポットに培養土と種イモ**を入れ、土をかぶせて水やりをし、ビニールハウスなど**保温のきく温かい場所**で管理して下さい。
適温は25℃くらいです。日中30℃を超えるようなら換気します。土が乾いたら**適宜水やり**をして下さい。おおよそ**3～4週間で発芽**します。**葉数が3～4枚になるまで育苗**し、その後定植します。確実に芽が出たものだけを植え付ける事が出来るので**欠株が少ない**です。

ヒント

定植が遅れる地域（中山間地）ではポット育苗した苗を植えると多収になります。

?質問、疑問?

Q 畑に植えて1ヶ月経っても芽が出ません。なぜでしょうか?

A 種芋の状態や地温にもよりますが**発芽までには約1ヶ月**かかります。
1ヶ月以上経っても**芽が出ないのは深植えしたから**ではないでしょうか。
20㎝以上深く植えると発芽しにくい性質があるので**10㎝ほどの深さで浅植えするのが基本**です。種芋の上にかける**土の厚さは7～8㎝程度**にします。
また、種芋が腐っていたり芽の部分が傷んでいたりしても芽が出ない事があります。

アスパラ菜の作り方

アブラナ科のアスパラ風味の野菜で、トウ立ちする甘くやわらかな茎と若いつぼみを食べます。**大崎菜とは違い、春から秋までいつ蒔いても収穫できる**便利な野菜です。

品種は**愛味菜（まなみな）・オータムポエムなど**があります。発芽適温は25℃ですので、**春の早蒔き**は危険です。八重桜が散ってからにして下さい。他のアブラナ科野菜と同様に「ねこぶ病」を予防するため、アブラナ科野菜を3年以上連作していない畑や、**ネビジン・フロンサイドなどの予防農薬を300g／10㎡使用**して下さい。

種まきは、**すじまき**にし、株間20cmになるように、**順じ間引いて下さい。**1度にまかず、少しずつ**数回に分けてまくと、連続して収穫**できます。

お　知　ら　せ

近年、当JA管内において出穂期前の田んぼで、ネズミによる被害と思われる報告が多くなってきています。現在の被害程度は小さいですが、繁殖力が強いため被害が拡大する恐れが考えられます。被害が広がる前に定期的な防除をお願いいたします。

ラテミン1%の3大特徴

使い方が簡単

雨雪に耐えられる防水小袋

よく食べる

そ穴投入法

ネズミ穴に分包1袋をそのまま投入して下さい。

点状配置法

ネズミの通路に一定間隔で配置して下さい。

＊商品一袋で約60アールが防除の目安です。

規格 500g 約（2g X 250袋）

普通物　野そ用殺そ剤

ラテミンリン化亜鉛1%（500g）　価格798円（税込）